

平成 30 年度第 1 回タウンミーティング
～ 質疑応答（概要）～

【質問・要望・意見 1】

発言者

大規模災害時に自宅で避難生活をしている要支援者への避難物資の配給はどのようなになっていますか。民生委員として自分がやるつもりですが、物資が確保できる保証もないので確保できるようにしてほしいです。

市長

まず皆さんにお願いしたいのは、自分たちで3～4日分は用意していただきたいと思います。

平日の昼間に災害が起きれば、市の職員はいるが地域の若い方は仕事で出ている場合が多く、逆に休日は地域の方はいても職員はそれぞれの自宅にいます。災害、特に地震は時間も場所も選ばずに起こるので、避難所の運営は地域の方でしか運営できないのです。そのような中では地域の方々の繋がりが重要になってきます。また、実際は、民生委員の方が物資の配給を行うことになるのではないかと思います。

なお、避難所の物資は避難所のためのものなので、町会や自治会などの自主防災会で備蓄している物資が対象となります。

【質問・要望・意見 2】

発言者

防災倉庫の鍵も限られた人しか開けられないので、実際に災害が起きた時に対応できるかという不安があります。

市長

千葉市では大地震の際に、揺れで扉の開く防災倉庫の実証を行っています。習志野市においても導入できないかを検討していきます。

学校の避難所の運営についても、教職員と連携を取っていかなければなりません。が、教職員は県の職員であるので、課題もあります。

【質問・要望・意見 3】

発言者

被災地にボランティアに行った経験がありますが、被災地のボランティアの受け入れ態勢も重要だと感じました。他の自治体の職員もいましたが、習志野市も被災地に職員を派遣していますか。習志野市が被災した時の参考になると思います。

市長

習志野市においては過去に職員を派遣した事例はあります。職員の受け入れをしている自治体もあればしていない自治体もあります。また、習志野市の職員の人数も減ってきている中で、派遣をすれば習志野市の業務の負担も増えるので、その辺も

平成 30 年度第 1 回タウンミーティング
～ 質疑応答（概要）～

考慮しながら決めています。

なお、先日、台風21号の被災地、大阪府高槻市に災害支援物資としてブルーシートを送りました。

【質問・要望・意見 4】

発言者

災害時の他市との協定はできているのですか。

市長

千葉県内は自動的に相互支援を行う体制ができています。単独では山梨県富士吉田市や京都府京田辺市と協定を結んでいます。

【質問・要望・意見 5】

発言者

習志野市が被災した時のためにも市の職員の方には被災地に行って、被災地でのボランティアの使い方を学んできてほしいと思います。

【質問・要望・意見 6】

発言者

昔は谷津遊園や伊藤飛行場などがあり、モノレール建設の計画もありましたが、今はそのようなものはない。住宅地として良いまちであるが、習志野市がもっと外に出て楽しみのあるまちになるように頑張してほしい。

市長

新たなインフラを作るような財源を伴うものは難しいですが、谷津船橋インターができたことから谷津干潟にもっと人を呼び込めるよう、東京と成田を結ぶバスが谷津干潟自然観察センターへ寄ってもらえないか、バス会社に依頼しています（※後日、先方より課題が多く難しいという回答がきています）。

また、東京オリンピック・パラリンピックもあるので、賑わいの部分は新習志野駅を中心にこれから企画していきたいと考えています。

【質問・要望・意見 7】

発言者

ゆうゆう館はどうなるのですか。

市長

元々は保健所の建物であるゆうゆう館は平成 32(2020)年中に廃止となる予定です。町会には会館がある町会とない町会がありますが、町会でお金を出し合って会館

平成 30 年度第 1 回タウンミーティング
～ 質疑応答（概要）～

を建てる場合は市からの補助制度があります。

【質問・要望・意見 8】

発言者

子ども食堂をやりたいと思いましたが、ゆうゆう館はなくなってしまうし、自宅では保健所の許可がおりないのでできませんでした。ゆうゆう館のような調理ができる施設がなくなるのは残念です。

発言者

自分たちでお金を出し合って会館を作るという選択肢も考えなければならないと思います。

この施設（鷺沼連合町会会館ヴィラージュ）も皆で 1 カ月 500 円を 3 年間集め、補助金を活用してできたものです。

市長

ゆうゆう館の跡地の利用は決まっていないので、町会で会館を建てるということであれば優先的に考えさせていただきたいと思います。

【質問・要望・意見 9】

発言者

高齢者外出支援事業のタクシー券の出し方は適切と言えるのでしょうか。

市長

そのようなご意見は他からもいただいています。対象が住民税非課税の高齢者世帯が対象となっていますが、実際は住民税が非課税でも預貯金などの資産を持っている方もいます。税や生活保護部門では資産調査の権限は法令に規定がありますが、このタクシー券については資産調査の権限はありませんのでご理解をいただきたいと思います。今後の課題として検討いたします。

【質問・要望・意見 10】

発言者

過去には生活保護の申請は民生委員が立ち会っていました。市役所に直接、申請に行くのではなく、民生委員が確認してから申請という仕組みにすれば、申請者は本当に自分が必要か考えてくれるのではないのでしょうか。

市長

法令に基づく制度は市では変えられませんが、このような声が国会に届くように、いろいろな場でどんどん言ってほしいと思います。

平成 30 年度第 1 回タウンミーティング
～ 質疑応答（概要）～

その年は非課税でも他の年はたくさん収入があるという方もいます。生活保護は資産調査があります。住民税非課税が条件となっている制度は他にもあります。

【質問・要望・意見 11】

発言者

元気な人はタクシー券でなくバスの券でもよいと思います。

市長

選択できるようにするという考えもありますから検討したいと思います。

【質問・要望・意見 12】

発言者

習志野市の避難所の食糧の備蓄はどのくらいありますか。また、自家発電機の台数は足りているのでしょうか。

市長

食料は避難所で生活する方の最低 3 日分を目安に蓄えています。発電機は簡易なものは各避難所に配備していますが、避難所全体の電力をまかなうような発電機はありません。発電機も買ったら終わりではなく、メンテナンスも必要となります。

災害に備えてどれだけ投資するかという話になりますが、これまでの災害では 3 日あれば電力は復旧してきています。また、実際の災害時には誰が避難所にいるかわからないので、防災訓練の時に限らず、地域のイベントなどで防災資機材を使うというのはとても重要です。防災資機材はどんどん「訓練として」使っていただきたいと思っています。